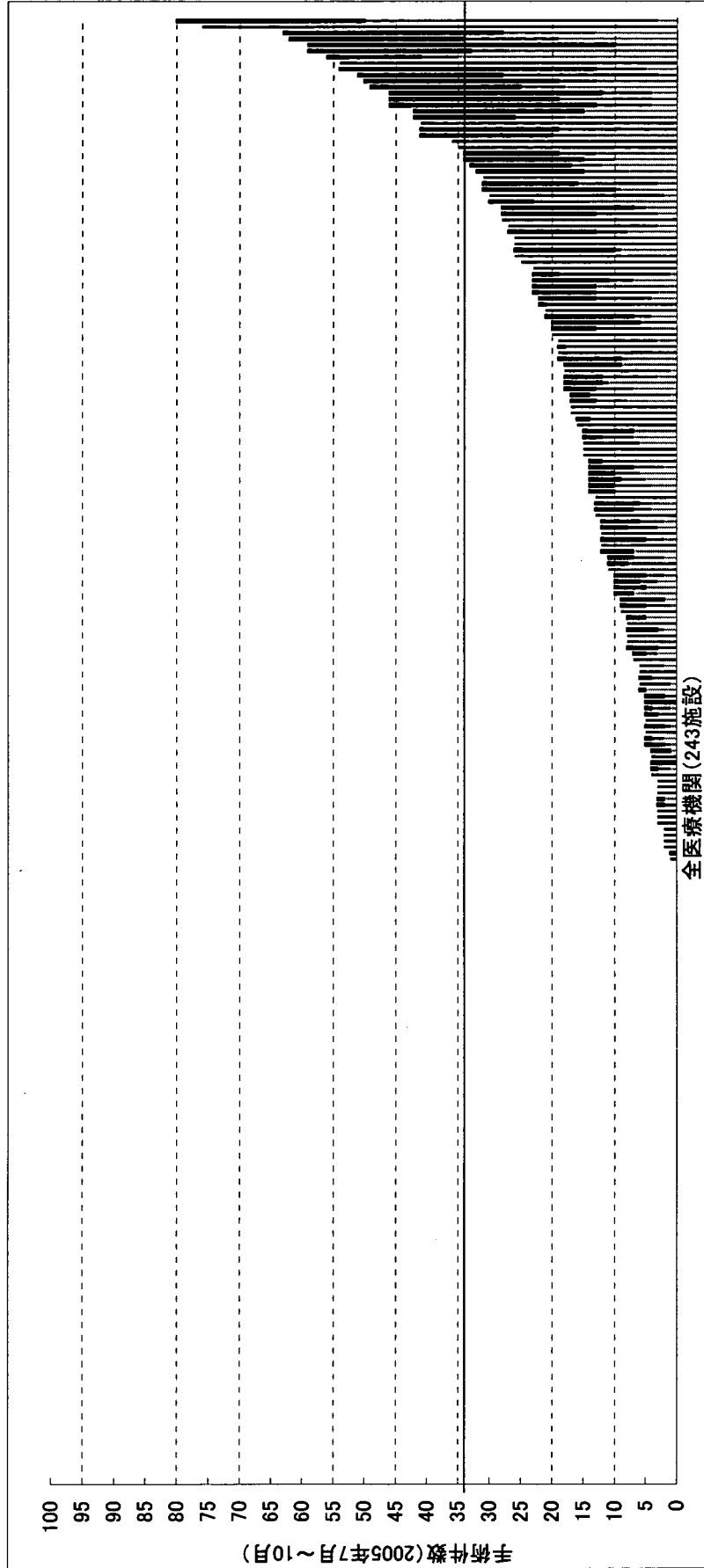


【特掲診療料施設基準 該当施設数の検討】MDC05に分類された冠動脈バイパス術・体外循環を用いる手術の施行件数

分類名	MDC05全て												
	手術内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
全循環器系疾患	冠動脈バイパス術以外の人工心臓使用件数	939	10.8	10.6	1	49	1	1.6	3	6	15.5	27	32.4
	人工心臓を伴う冠動脈バイパス術(CABG)	1348	10.8	11.5	1	76	1	2	3	7	15	25	30.4
	人工心臓を伴わない冠動脈バイパス術(OPCAB)の施行割合	496	6.4	6.0	1	35	1	1	2	4	8	13	18



【図の説明】

■:人工心臓を伴わない冠動脈バイパス術(OPCAB)[Kコード:K588]

□:人工心臓を伴う冠動脈バイパス術(CABG)[K手術コード:K588およびK598]

□:冠動脈バイパス術を除いた対外循環を要する手術[Kコード:K598]

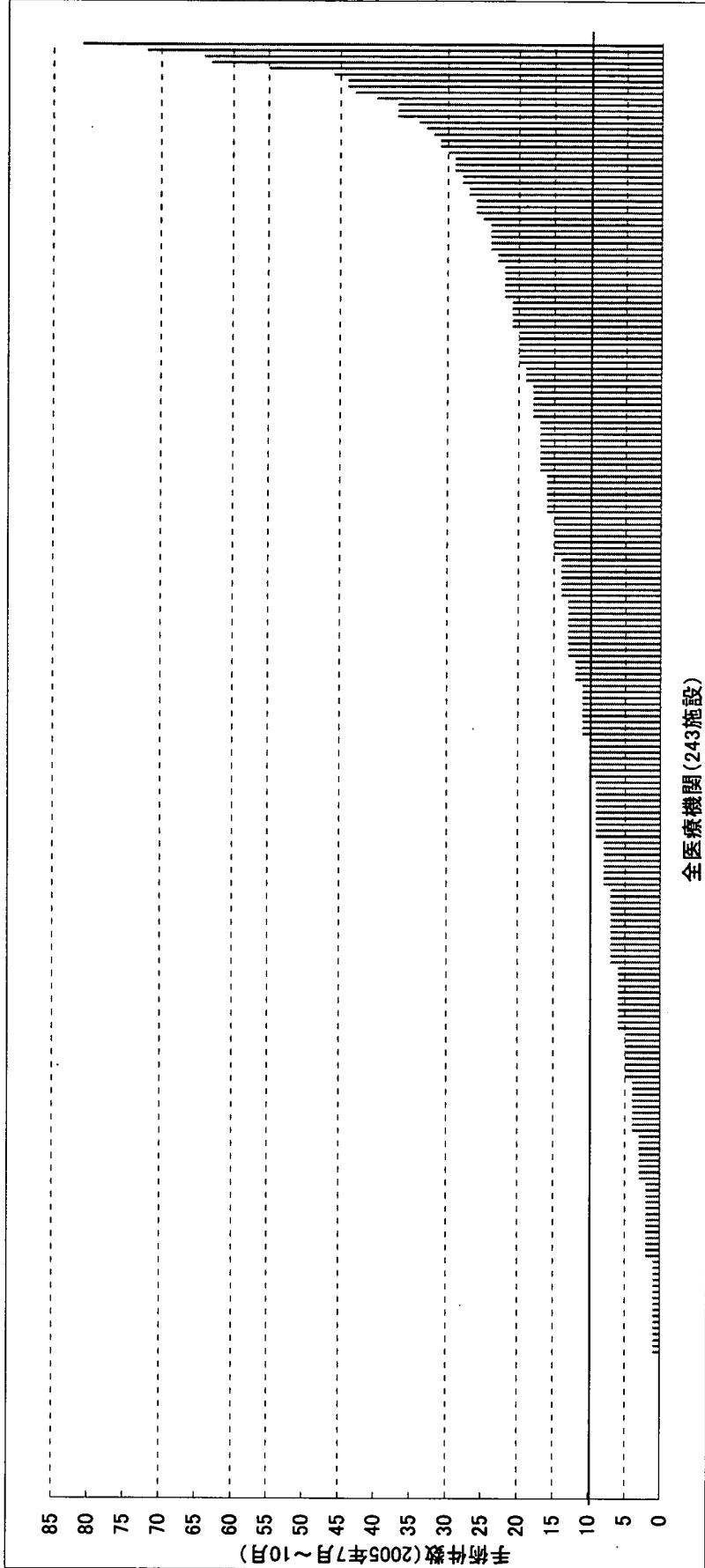
【コメント】

現行の診療報酬制度(平成16年版)では、冠動脈バイパス術・対外循環を伴う手術件数を年間100症例以上行う医療機関には診療報酬が5/100加算されることから、本データにおける加算対象施設数を調べた。本解析のデータ収集期間は4か月であるため、年間100件に相当する34件/4ヶ月で補助線を引いた。その結果、全体(243施設)の9%に相当する22施設がこの条件を満たしていた。



【特掲診療料施設基準 該当施設数の検討】MDC05に分類されたペースメーカー移植術・交換術の施行件数

解析対象DPC番号の範囲		MDC05全て											
分類名	解析内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
全循環器系疾患	ペースメーカー移植術および交換術	3110	14.2	12.7	1	81	1	2	6	11	19	28.2	37



【図の説明】

■:ペースメーカー移植または交換術 [Kコード:K552またはK554]

【コメント】

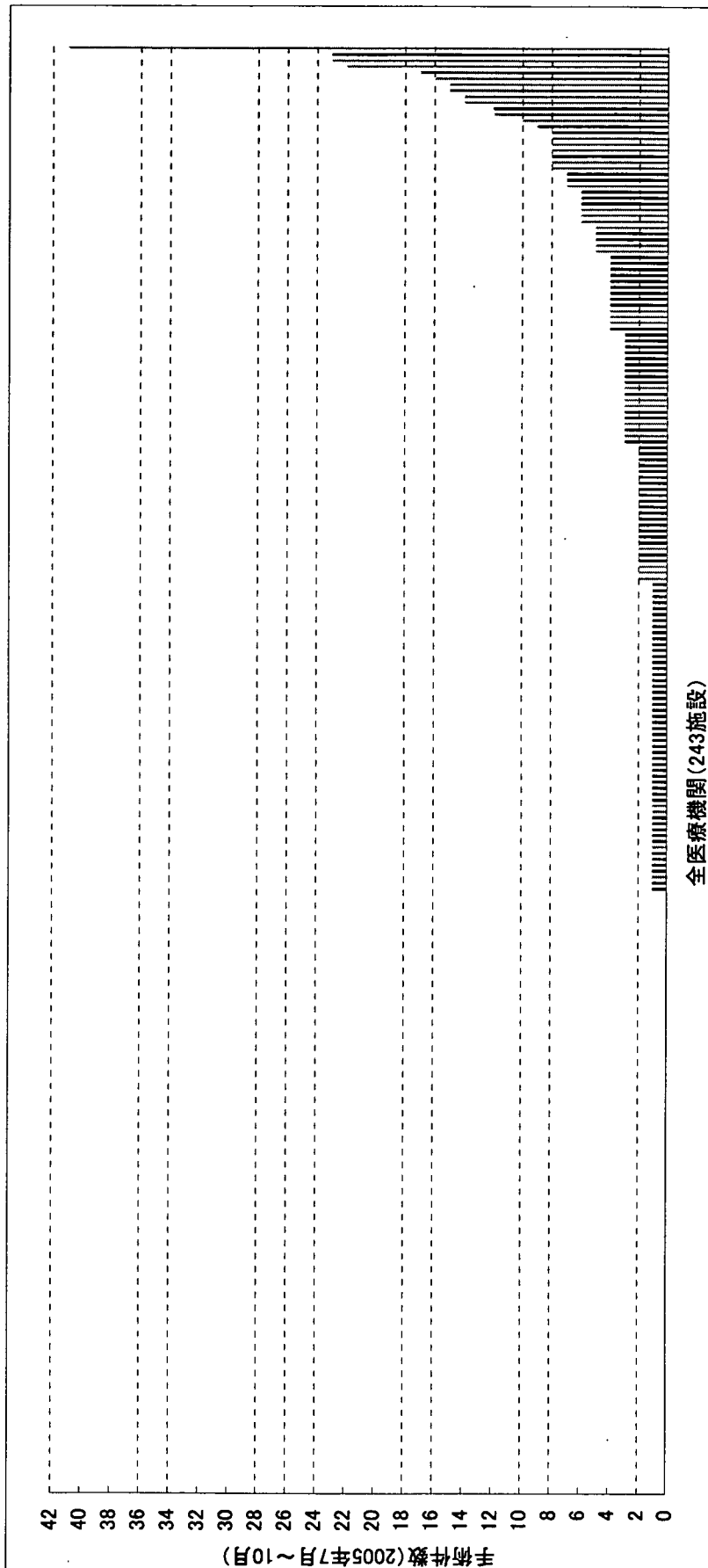
現行の診療報酬制度(平成16年版)では、ペースメーカー移植術と交換術を年間50症例以上行う医療機関には診療報酬が5/100加算されることから、本データにおける加算対象施設の数調べた。本解析のデータ収集期間は4ヶ月であるため、年間30件に相当する10件で補助線を引いた。その結果、全体(243施設)の48%にあたる116施設がこの条件を満たしていた。

# MDC06

## 消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患

### 食道の悪性腫瘍の手術件数

分類名	0600103x01および0600103x02および0600103x03および0600103x04および0600103x05												
	手術内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
食道の悪性腫瘍	手術件数	588	2.4	4.6	0	41	0	0	0	1	3	6	10
	特定機能病院件数	318	2.3	5.5	0	41	0	0	0	0	1	8	14
	その他の参加病院件数	270	1.3	2.4	0	23	0	0	0	1	2	4	5



【図の説明】

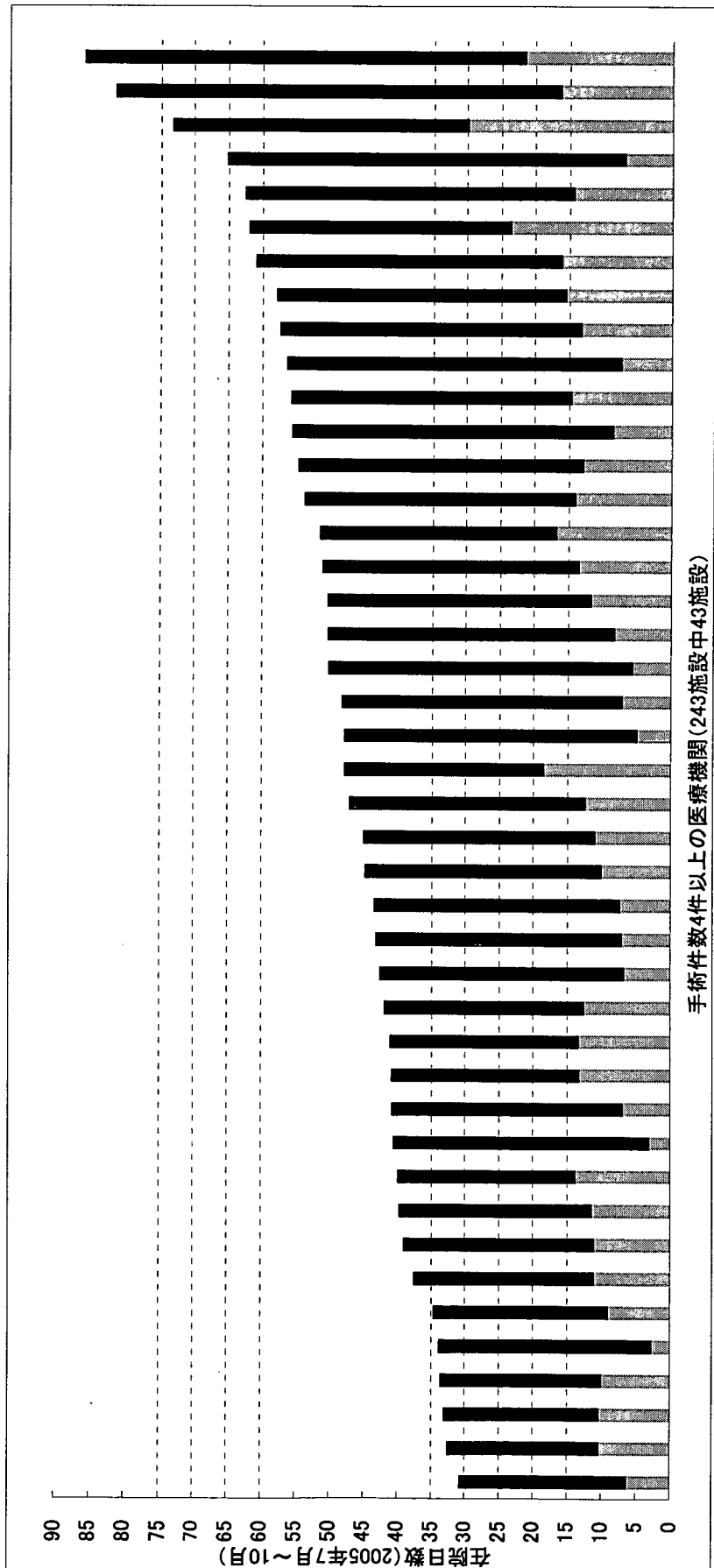
: 特定機能病院  
 : 食道の悪性腫瘍に対する手術には、消化管再建手術を伴う食道切除術／頸部郭清術が含まれる  
 : その他の参加病院

【コメント】

- ・食道の悪性腫瘍の手術件数1件以上の医療機関142施設(全体の58%)において見られた。
- ・食道の悪性腫瘍の手術件数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。

食道の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における平均在院日数(N = 398)

分類名	0600103x01および0600103x02および0600103x03および0600103x04および0600103x05										
	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
食道の悪性腫瘍	49.1	12.4	30.8	86.0	33.3	34.2	40.7	47.9	55.8	62.5	72.6
在院日数											
術後在院日数	37.5	10.2	22.5	65.3	23.9	25.9	28.9	36.3	42.8	48.1	57.6
術前在院日数	11.6	5.3	2.6	29.8	4.9	6.3	7.3	11.0	13.8	16.6	21.1



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(4件以上)の施設を解析対象とした。

■: 術前在院日数

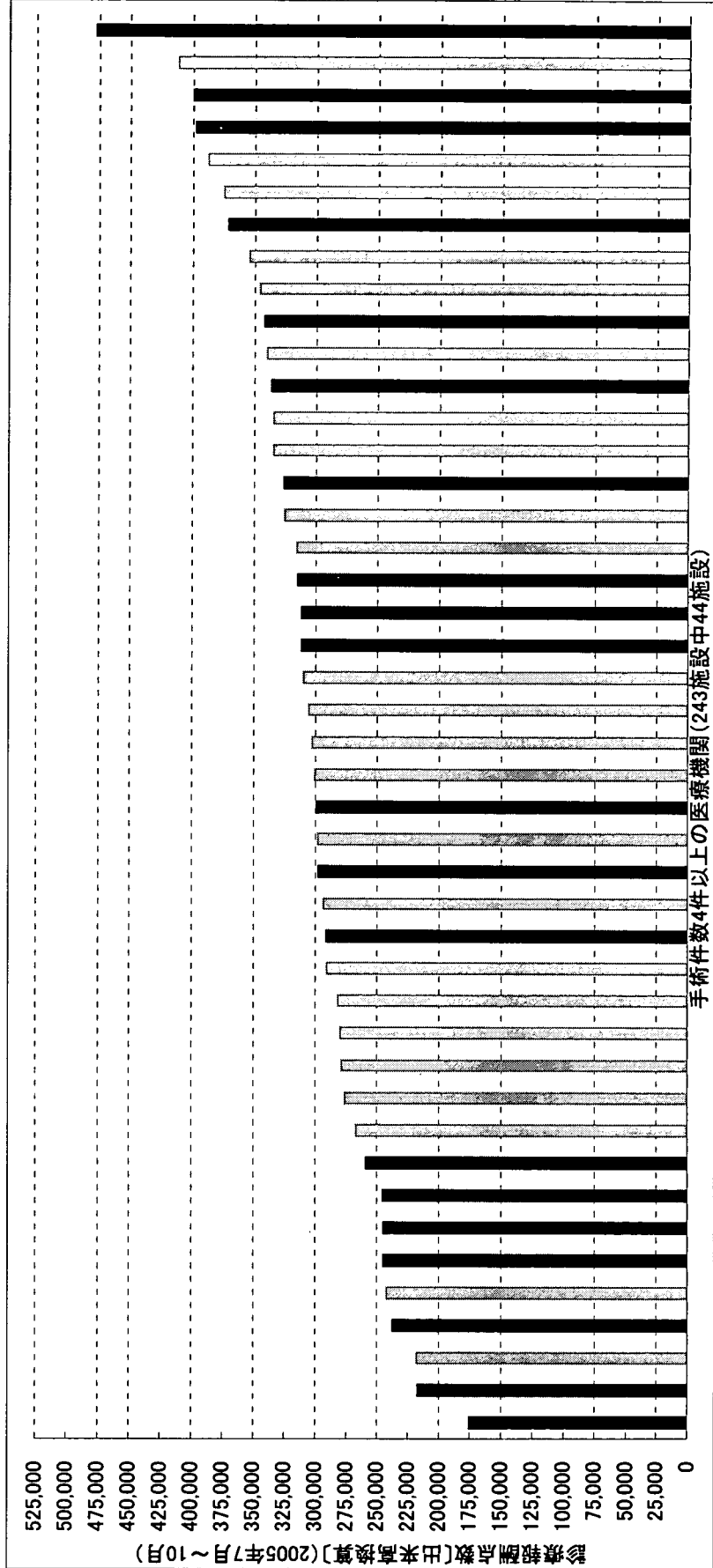
■: 術後在院日数

【コメント】

・食道の悪性腫瘍手術の平均在院日数には、医療機関でバラツキが見られた。

食道の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 403)

分類名	解析内容	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
食道の悪性腫瘍	診療報酬点数〔出来高換算〕	309,023	57,775	176,126	478,257	221,481	243,583	278,903	304,897	337,607	384,704	400,502
	特定機能病院(24施設)〔出来高換算総点数〕	311,844	44,681	218,543	412,362	246,531	270,433	281,731	304,897	336,324	369,571	386,607
	その他の参加病院(20施設)〔出来高制度の総点数〕	305,637	71,524	176,126	478,257	215,475	236,070	245,830	305,833	338,164	398,815	404,711



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(4件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■:特定機能病院

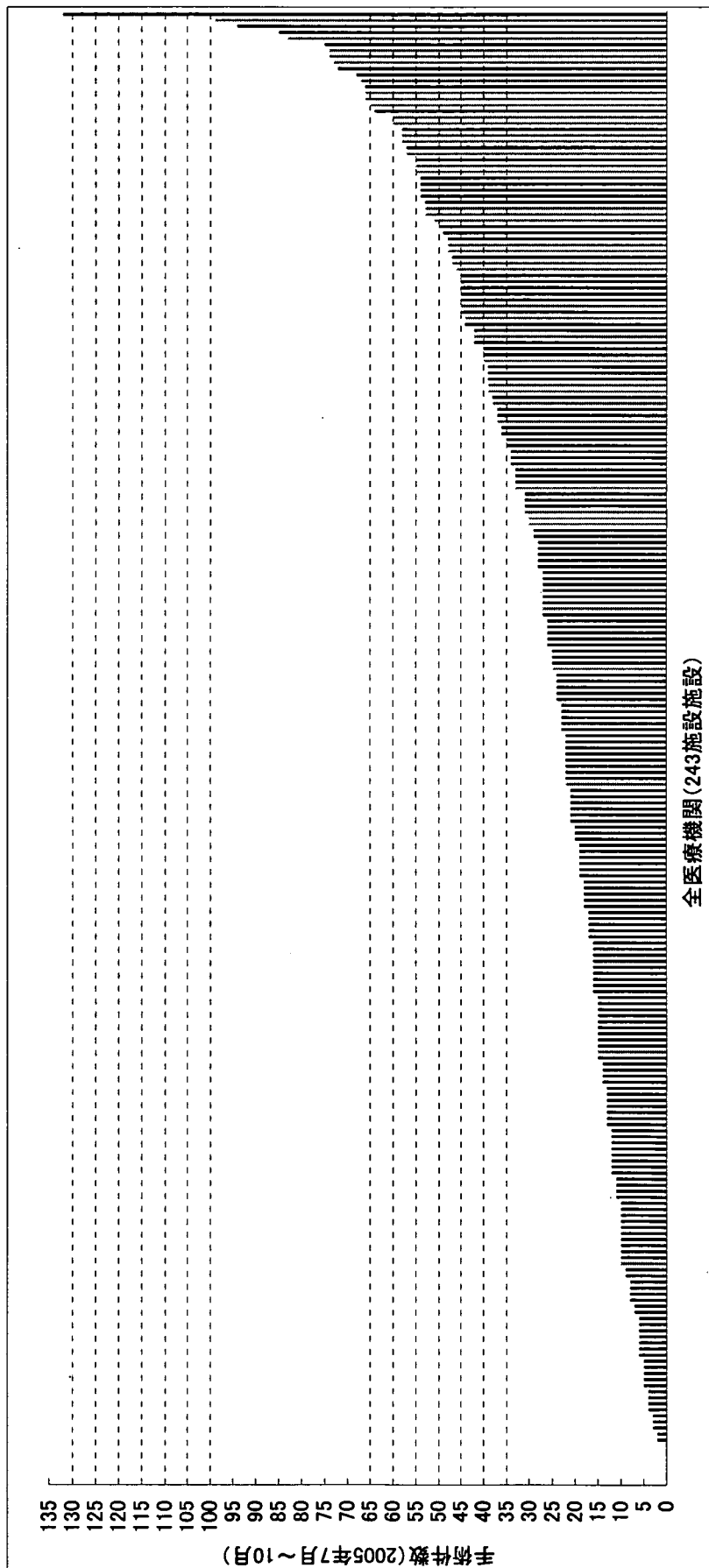
□:その他の参加病院

【コメント】

・食道の悪性腫瘍の一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕は、特定機能病院よりもその他の病院の方がバラツキが大きかった。

## 胃の悪性腫瘍の手術件数

分類名	0600203x01および0600203x02および0600203x03および0600203x04および0600203x05												
	解析内容		パーセンタイル										
胃の悪性腫瘍	手術件数	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
	特定機能病院件数	1,963	49.1	18.7	10	99	22	27	38	48	60	73	74
	その他の参加病院件数	4,751	24.2	18.2	2	132	5	6	12	20	31	46	56



【図の説明】

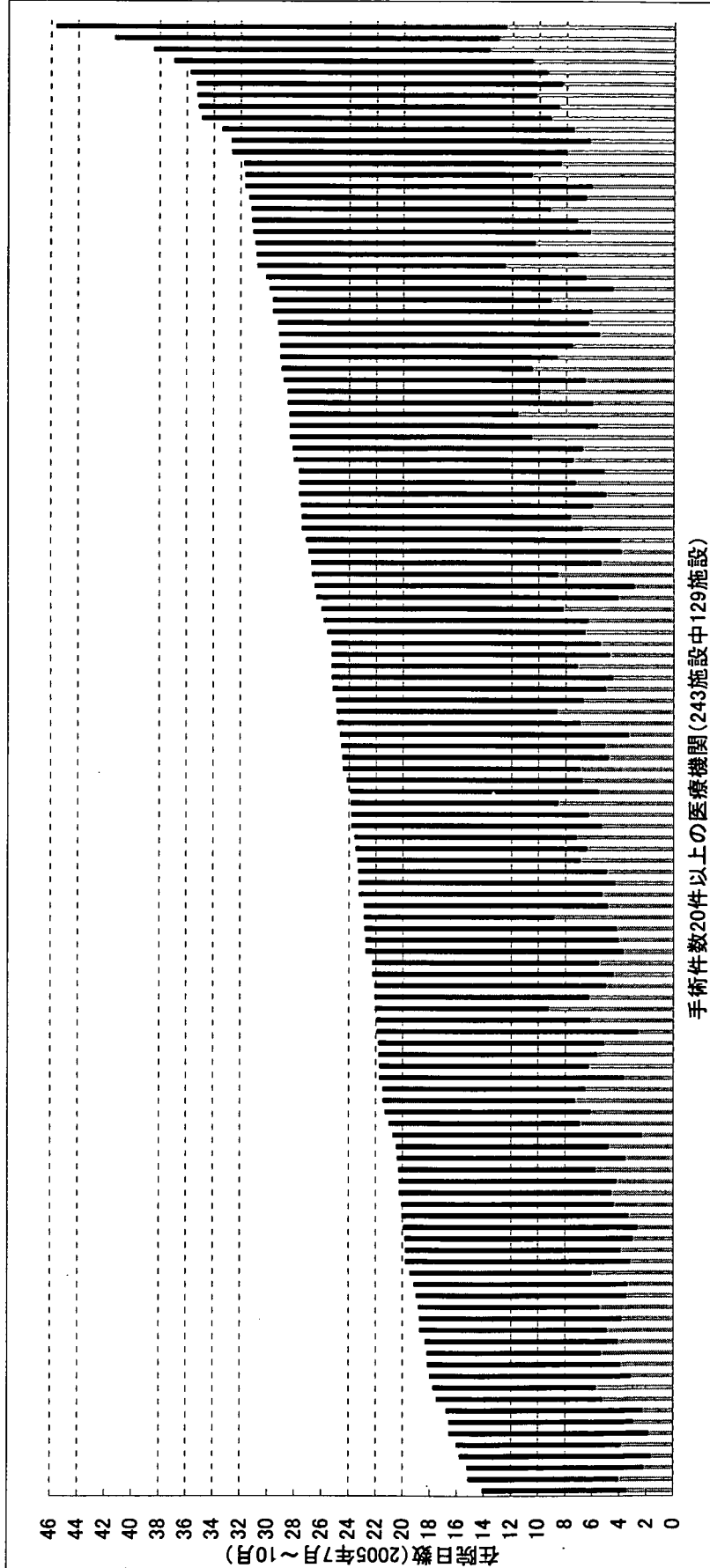
### 【コメント】

- ・胃の悪性腫瘍の症例数(手術なしも含む)はMDC06の全症例数の約5%であった。
- ・胃の悪性腫瘍の手術件数1件以上の医療機関140施設(全体の58%)において見られた。
- ・胃の悪性腫瘍の手術数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。



### 胃の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における平均在院日数(N = 5,193)

分類名	0600203x01 および0600203x02および0600203x03および0600203x04および0600203x05		パーセンタイル									
	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
胃の悪性腫瘍	25.1	5.7	14.1	45.7	16.7	18.3	21.0	24.5	28.6	31.7	35.2	
在院日数	19.0	4.2	10.7	33.2	12.9	14.1	15.8	18.3	22.0	24.8	26.2	
術後在院日数	6.1	2.4	1.6	13.7	2.8	3.4	4.3	6.0	7.3	9.3	10.5	
術前在院日数												



手術件数20件以上の医療機関(243施設中129施設)

**【図の説明】**

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

■ : 術前在院日数

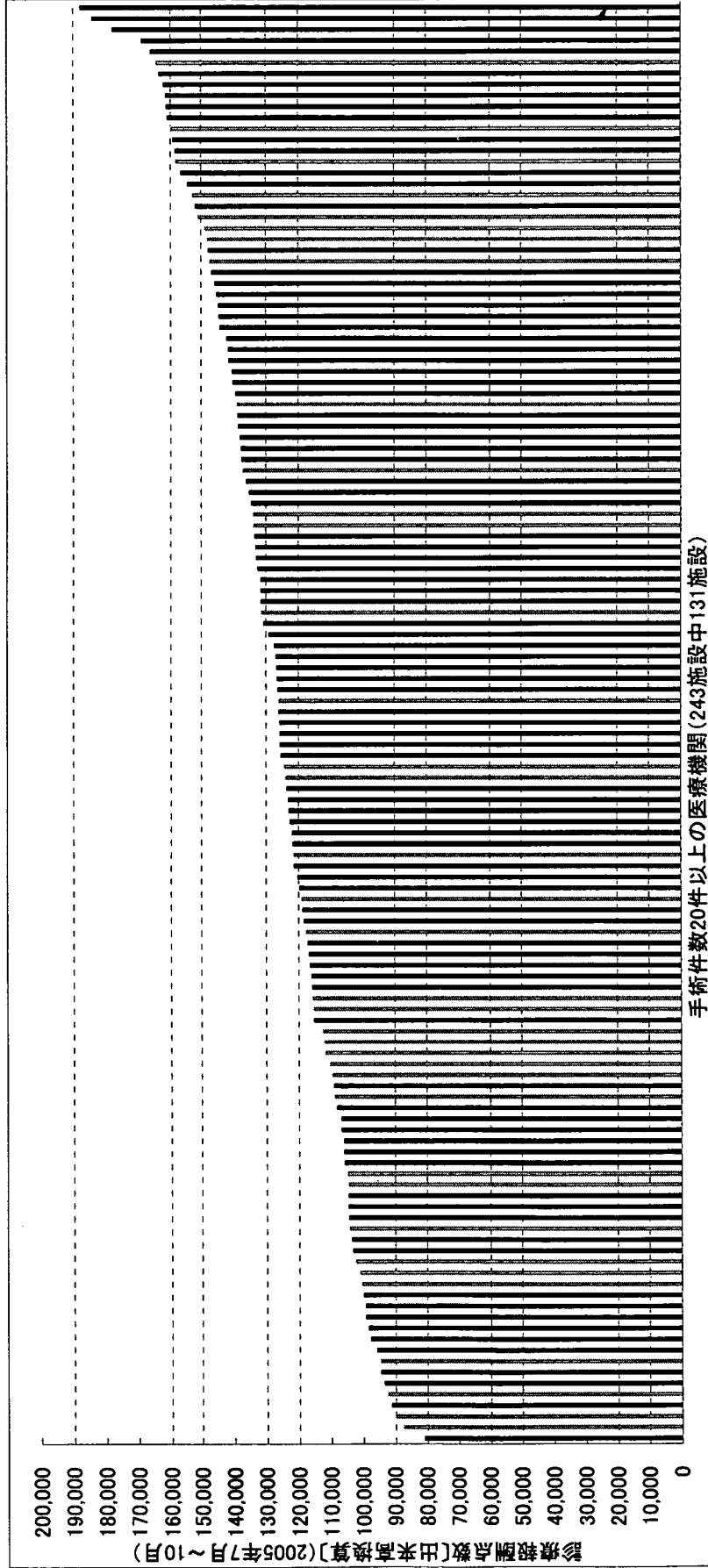
■ : 術後在院日数

**【コメント】**

- ・胃の悪性腫瘍の平均在院日数は、医療機関でバラツキが見られた。
- ・外れ値下位2.5%未満に114件が相当したが、そのうち14件と11件と9件がそれぞれ1施設で占められていた。

胃の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 5,191)

分類名	0600203x01および0600203x02および0600203x03および0600203x04および0600203x05		パーセンタイル									
	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
胃の悪性腫瘍	診療報酬点数〔出来高換算〕	127,214	21,846	81,123	187,831	94,697	99,925	109,307	125,924	141,085	158,476	162,978
	特定機能病院(37施設)〔出来高換算総点数〕	122,185	21,230	87,641	164,475	92,123	98,217	104,944	117,718	137,272	151,747	158,776
	その他の参加病院(94施設)〔出来高換算の総点数〕	129,194	21,878	81,123	187,831	97,169	100,915	115,839	126,918	141,761	160,561	164,559



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■：特定機能病院

■：その他の参加病院

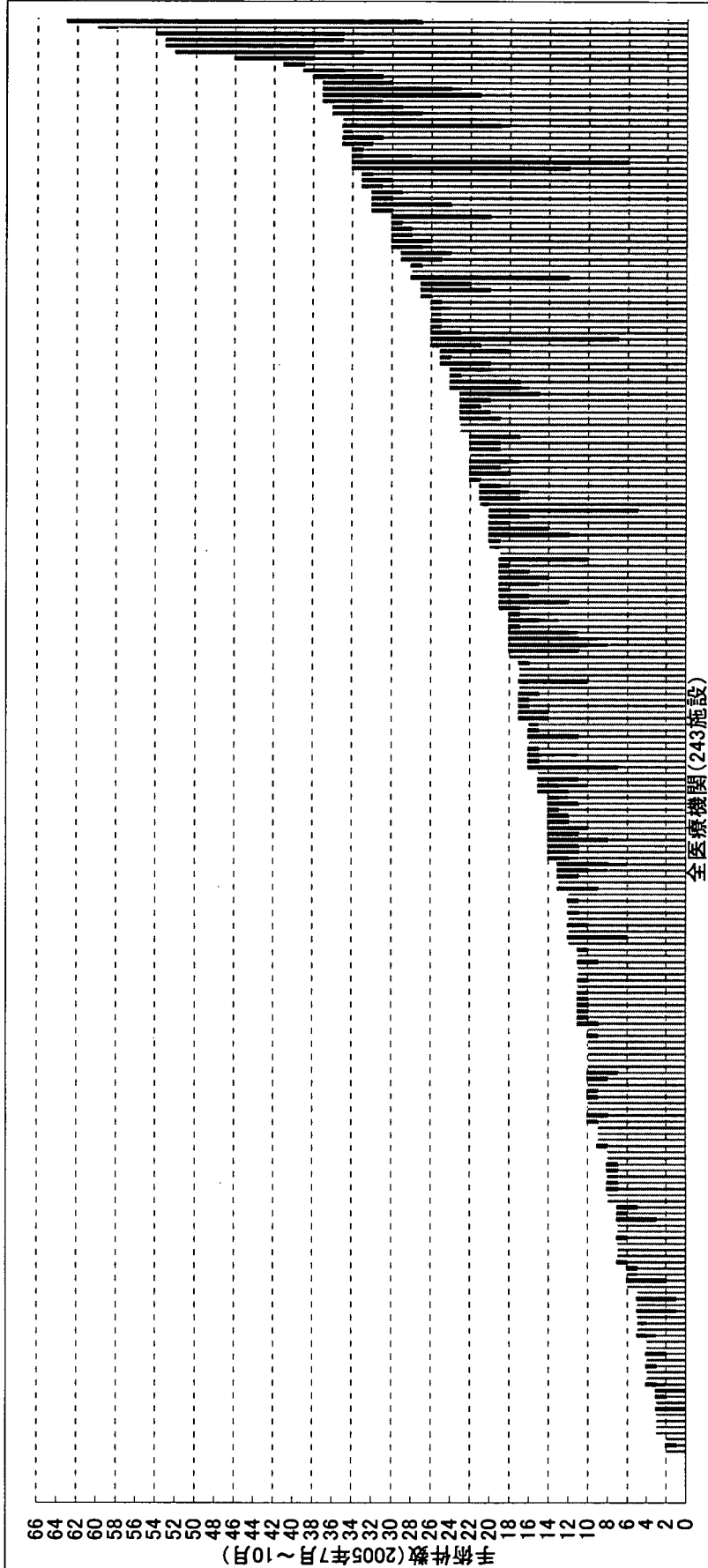
【コメント】

・胃の悪性腫瘍の一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕は、医療機関で2倍以上のバラツキが見られた。

# 大腸の悪性腫瘍の手術件数

解析対象DPC番号の範囲 0600353x01および0600353x06および0600353x07

分類名	手術内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセントイル									
							5	10	25	50	75	90	95			
大腸の悪性腫瘍	手術件数	4,226	17.4	11.7	0	63	3	4	9	16	24	34	37			
	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術	723	4.2	5.2	0	36	1	1	1	3	5	8	16			
	腹腔鏡下結腸切除術	56	1.2	1.0	0	5	0	0	1	1	2	2	3			
	結腸切除術	3,447	14.3	9.5	0	58	2	3	8	12	19	28	32			



【図の説明】

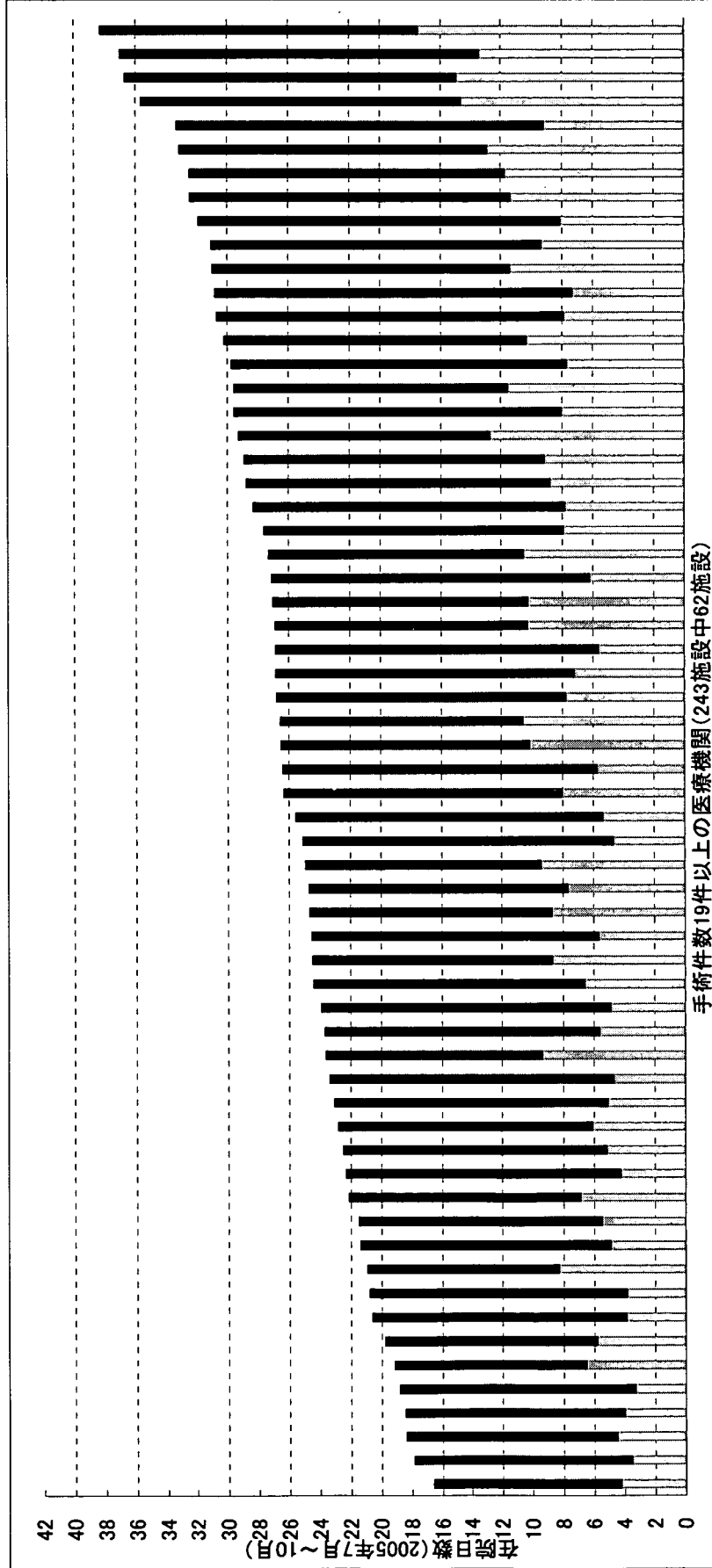
- : 結腸切除術 [DPC手術コード:01]
- : 腹腔鏡下結腸切除術 [DPC手術コード:06]
- : 内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 [DPC手術コード:07]

【コメント】

- ・大腸の悪性腫瘍の症例数(手術なしも含む)はMDC 06の全症例数の約3%であった。
- ・大腸の悪性腫瘍の手術数1件以上の医療機関235施設(全体の97%)において見られた。
- ・大腸の悪性腫瘍の手術数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。

### 大腸の悪性腫瘍に対し結腸切除術を施行した症例における平均在院日数(N = 1,626)

分類名	パーセンタイル										最大値	最小値	平均値	標準偏差			
	5	10	25	50	75	90	95										
大腸の悪性腫瘍	18.5	19.9	22.9	26.5	29.6	32.5	35.6	38.3	42.2	5.5	7.8	9.9	11.7	17.4	3.3	7.9	3.1
結腸切除術を施行した症例の在院日数	13.9	14.4	16.5	18.3	20.7	21.8	23.5	24.2	4.2	5.5	7.8	9.9	11.7	17.4	3.3	7.9	3.1
結腸切除術を施行した症例の術後在院日数	3.8	4.2	5.5	7.8	9.9	11.7	13.3	17.4	3.8	5.5	7.8	9.9	11.7	17.4	3.3	7.9	3.1
結腸切除術を施行した症例の術前在院日数	18.5	19.9	22.9	26.5	29.6	32.5	35.6	38.3	42.2	5.5	7.8	9.9	11.7	17.4	3.3	7.9	3.1



【図の説明】

外れ値両側5%を除き、件数上位25%(19件以上)の施設を解析対象とした。

□ : 術前在院日数

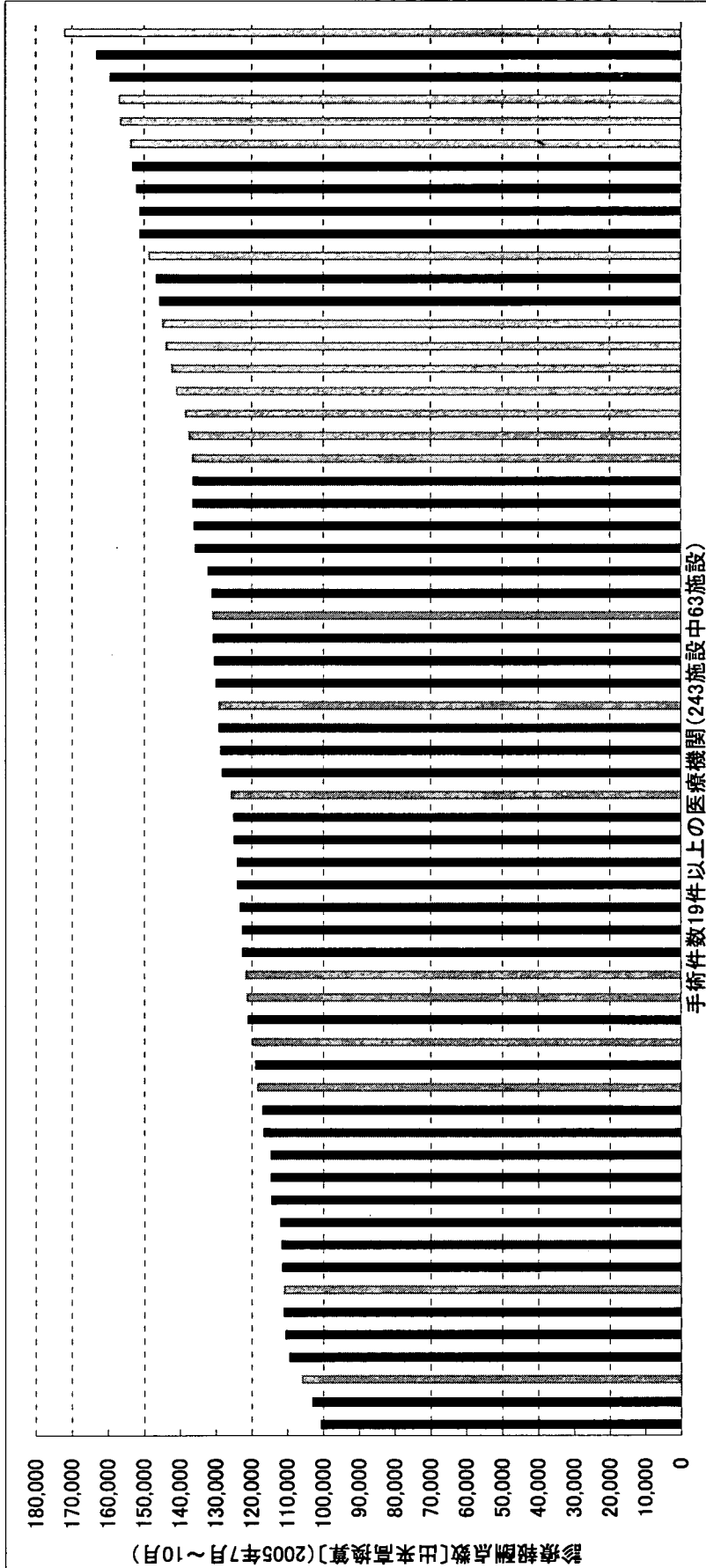
■ : 術後在院日数

【コメント】

- ・大腸の悪性腫瘍の平均在院日数は、医療機関でバラツキが見られた。
- ・外れ値下位2.5%未満に78件が相当したが、そのうち10件が1施設で占められていた。

大腸の悪性腫瘍に対し結腸切除術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 1,619)

分類名	解析内容	パーセントイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
大腸の悪性腫瘍に対し結腸切除術を施行した症例	診療報酬点数〔出来高換算〕	130,581	16,117	100,857	172,183	109,676	111,268	118,843	129,253	141,726	153,032	156,981
	特定機能病院(21施設)〔出来高換算総点数〕	136,189	16,616	106,198	172,183	111,191	118,577	122,014	137,639	144,957	156,768	157,005
	その他の参加病院(42施設)〔出来高換算の総点数〕	127,777	15,296	100,857	163,171	109,622	111,160	115,310	125,157	136,053	151,289	153,191



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(19件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

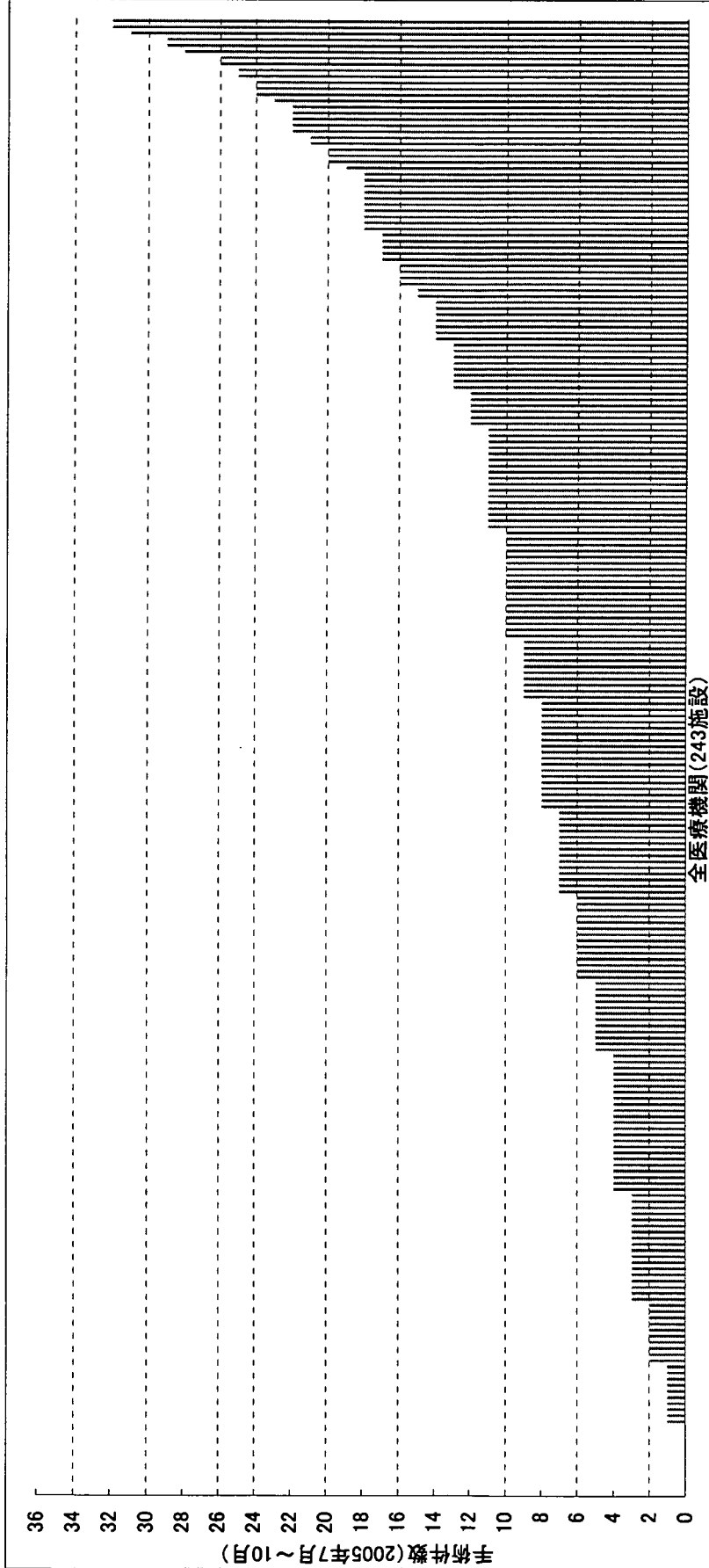
■: その他の参加病院

【コメント】

・大腸の悪性腫瘍の一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕は、医療機関で1.5倍近くのバラツキが見られた。

### 直腸肛門の悪性腫瘍の手術件数

解析対象DPC番号の範囲	0600403x01および0600403x02および0600403x03および0600403x04および0600403x07									
分類名	直腸肛門の悪性腫瘍									
手術内容	直腸癌の手術件数									
手術件数	2,261	9.3	7.0	0	32	5	10	25	50	75
平均値	9.3	7.0	0	32	5	10	25	50	75	90
標準偏差	7.0	0	32	5	10	25	50	75	90	95
最小値	0	32	5	10	25	50	75	90	95	24
最大値	32	5	10	25	50	75	90	95	24	



【図の説明】

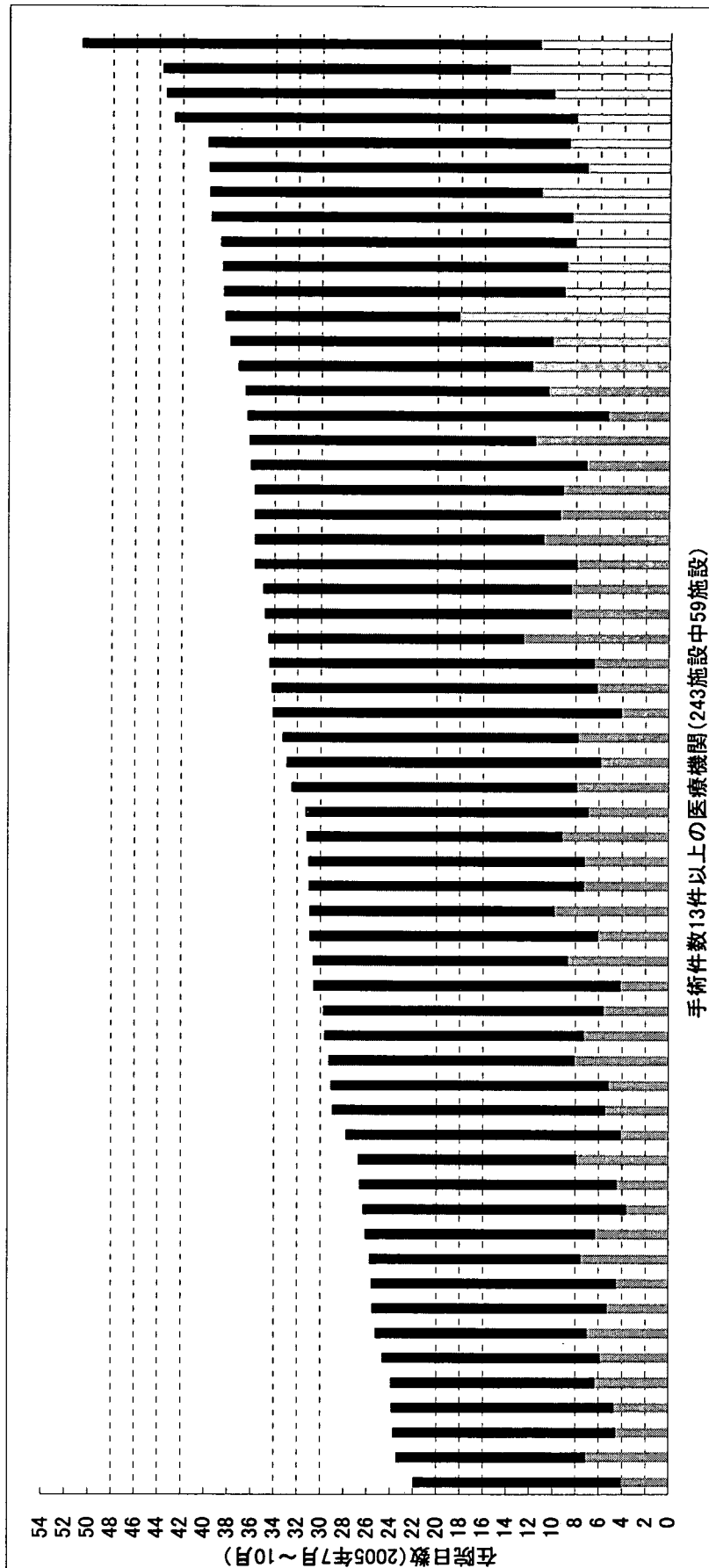
■:直腸肛門の悪性腫瘍の症例数

【コメント】

- ・直腸肛門の悪性腫瘍の手術件数1件以上の医療機関は231施設(全体の95%)において見られた。
- ・直腸肛門の悪性腫瘍の手術件数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。

### 直腸肛門の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における平均在院日数(N = 1,092)

分類名	解析内容										パーセンタイル				
	解析対象DPC番号の範囲	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95			
直腸肛門の悪性腫瘍	0600403x01および0600403x02および0600403x03および0600403x04および0600403x07	32.8	6.0	22.0	50.7	23.9	25.2	28.4	32.9	36.5	39.7	42.8			
	在院日数					18.2	18.9	21.6	24.7	28.1	31.1	32.7			
	術後在院日数	7.8	2.7	3.6	18.2	4.1	4.4	5.9	7.5	9.1	11.1	11.9			
	術前在院日数														



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(13件以上)の施設を解析対象とした。

■：術前在院日数

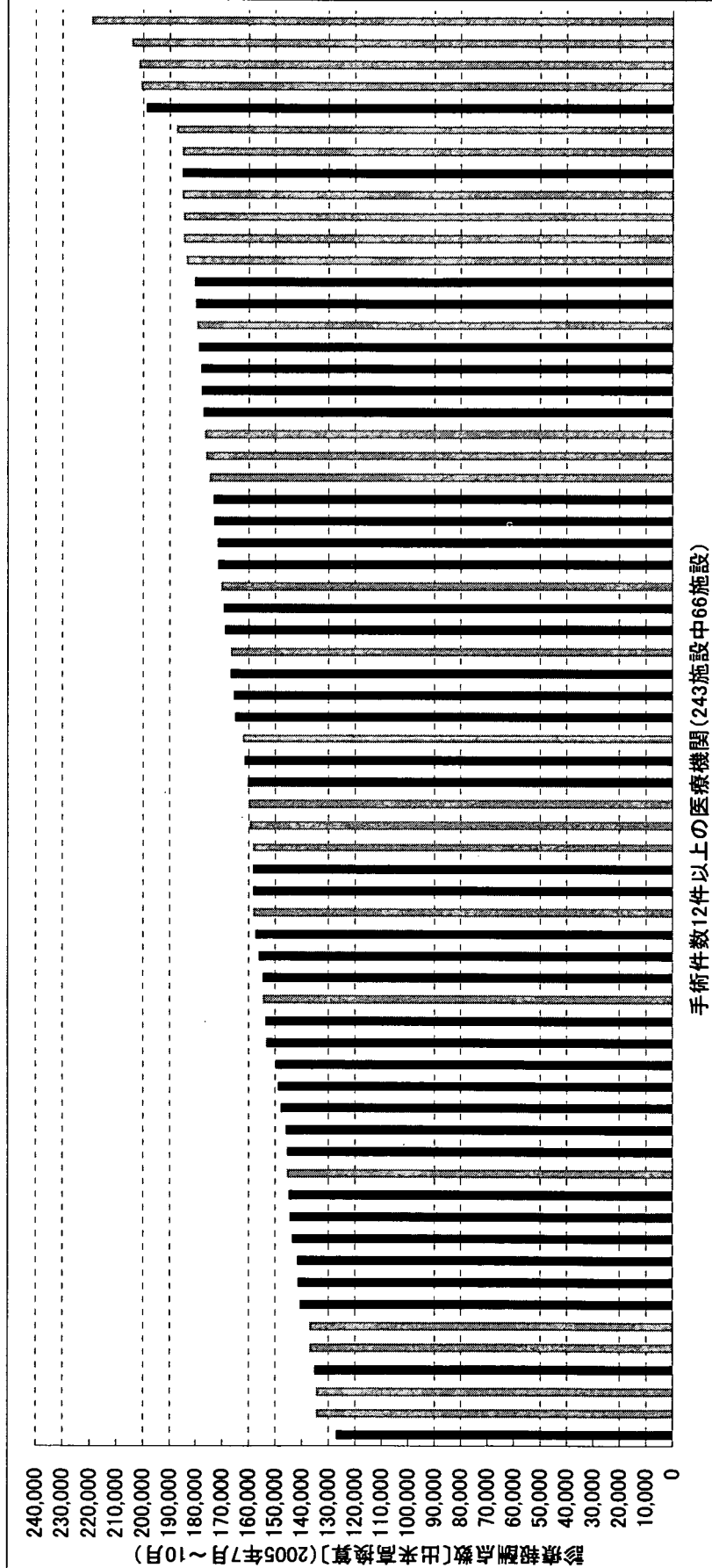
■：術後在院日数

【コメント】

・直腸肛門の悪性腫瘍の平均在院日数は、医療機関でバラツキが見られた。

直腸肛門の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 1,159)

分類名	0600403x01 および0600403x02 および0600403x03 および0600403x04 および0600403x07		パーセンタイル									
	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
直腸肛門の悪性腫瘍	164,805	19,460	127,101	219,208	135,579	141,039	149,150	163,641	177,745	185,395	200,395	
診療報酬点数〔出来高換算〕	171,296	22,506	134,532	219,208	135,434	137,154	158,467	174,903	185,241	201,194	203,387	
特定機能病院(27施設)〔出来高換算総点数〕	160,311	15,827	127,101	198,781	140,122	141,697	146,962	158,511	172,394	178,916	180,846	
その他の参加病院(39施設)〔出来高制度の総点数〕												



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(12件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■：特定機能病院

■：その他の参加病院

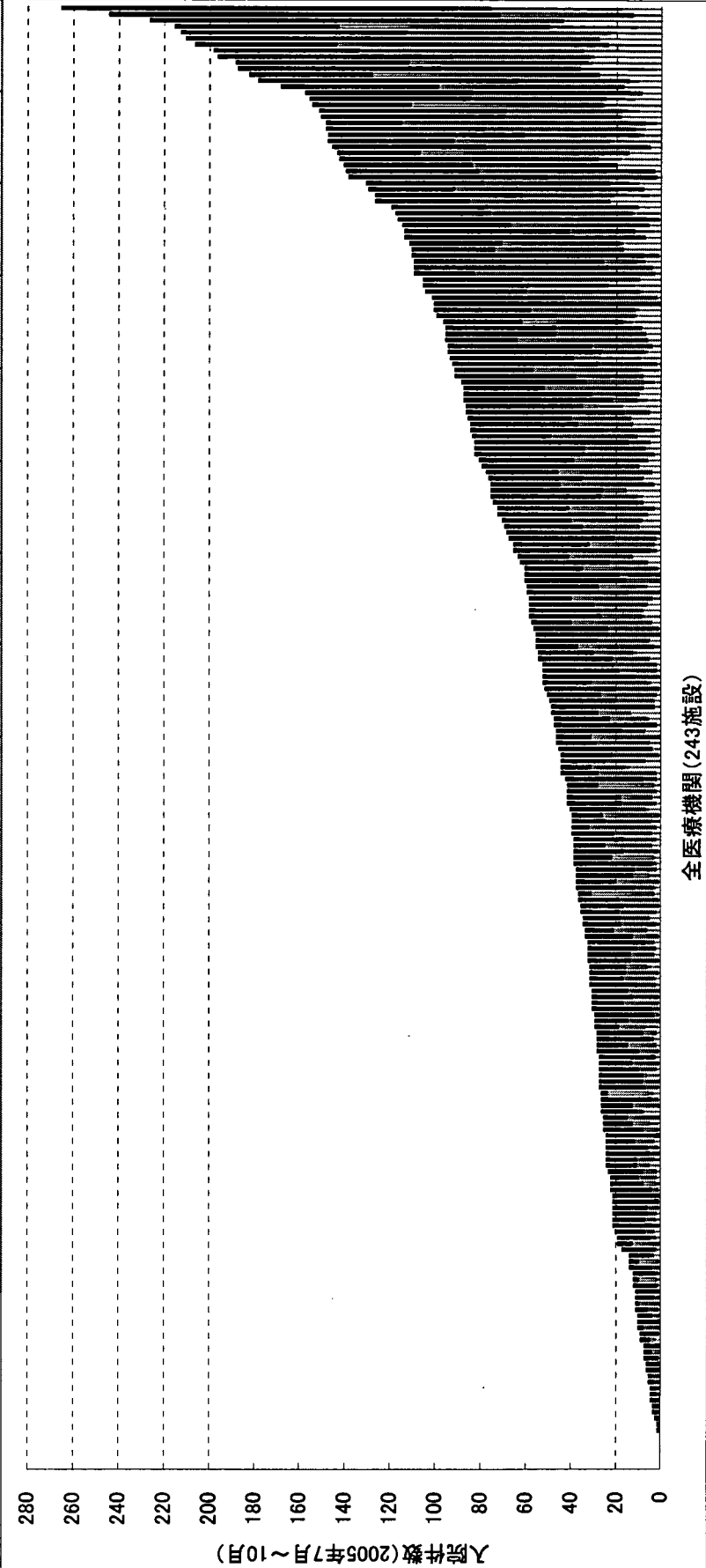
【コメント】

・直腸肛門の悪性腫瘍の一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。



# 肝・肝内胆管の悪性腫瘍の入院件数

分類名	0600503 解析対象DPC番号の範囲										ハーセータイル									
	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95							
肝・肝内胆管の悪性腫瘍	全入院件数	15,397	63.4	53.2	0	265	4	10	26	46	91	143	177							
	その他	8,018	33.0	27.9	0	174	2	5	14	24	47	69	83							
	血管塞栓術件数	5,755	25.4	24.6	0	120	1	3	8	17	34	61	80							
	マイクロ波凝固法件数	382	5.3	9.2	0	58	0	1	1	2	5	12	18							
	肝切除術件数	1,242	5.1	6.8	0	44	0	0	1	2	7	13	18							



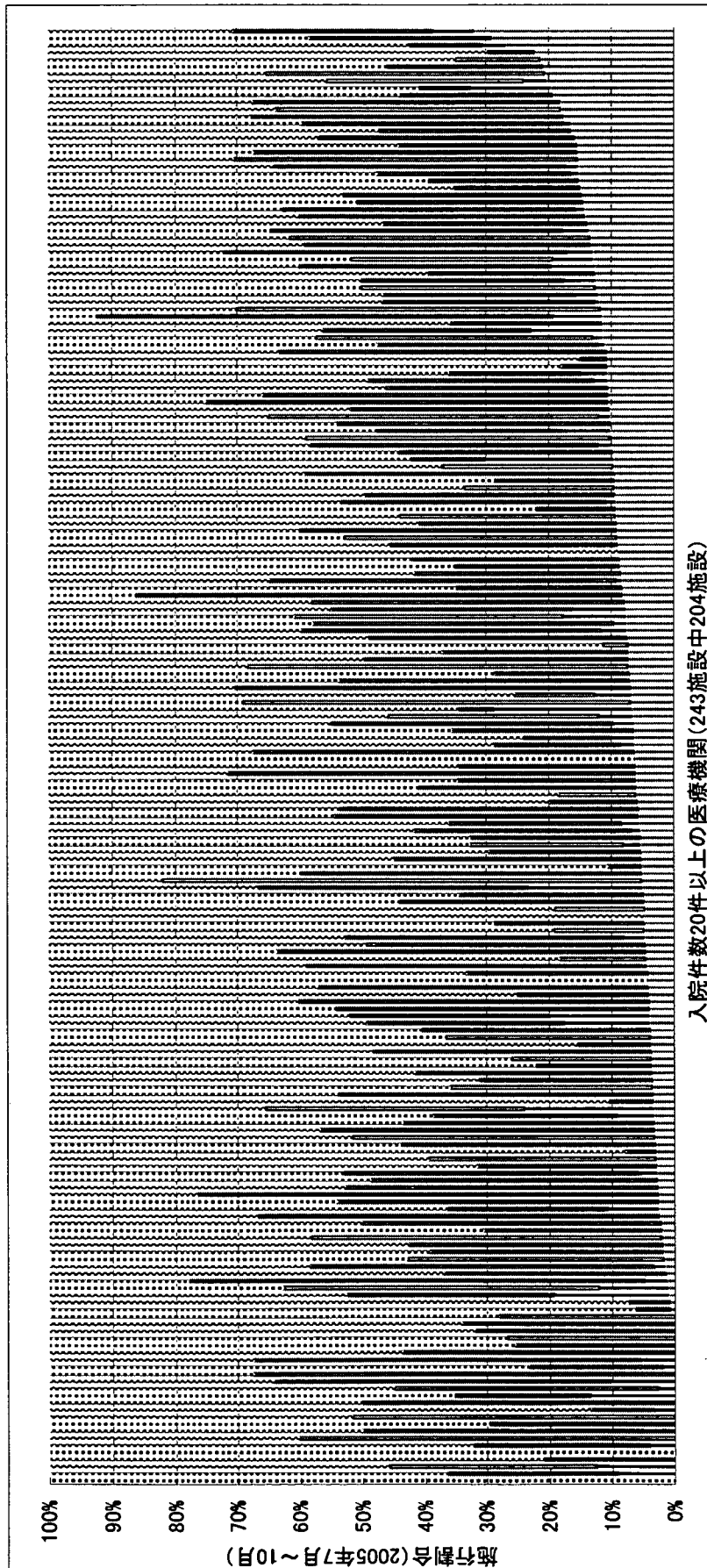
【図の説明】

【コメント】

- ・肝・肝内胆管の悪性腫瘍の症例数は、MDC06の全症例数の約11%であった。
- ・肝・肝内胆管の悪性腫瘍の症例数1例以上の医療機関は237施設(全体の98%)において見られた。
- ・肝・肝内胆管の悪性腫瘍の症例数が多い医療機関は、特定機能病院で多く見られた。

### 肝・肝内胆管の悪性腫瘍の治療内訳割合(N = 15,107)

分類名	解析内容	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
肝・肝内胆管の悪性腫瘍	その他	55%	18%	8%	100%	30%	33%	42%	53%	66%	80%	89%
	血管塞栓術割合	36%	17%	0%	78%	5%	12%	26%	35%	48%	55%	62%
	マイクロ波凝固法割合	2%	4%	0%	22%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	11%
	肝切除術割合	7%	6%	0%	32%	0%	0%	3%	6%	11%	15%	18%



入院件数20件以上の医療機関(243施設中204施設)

【図の説明】

件数20件以上の施設を解析対象とした。

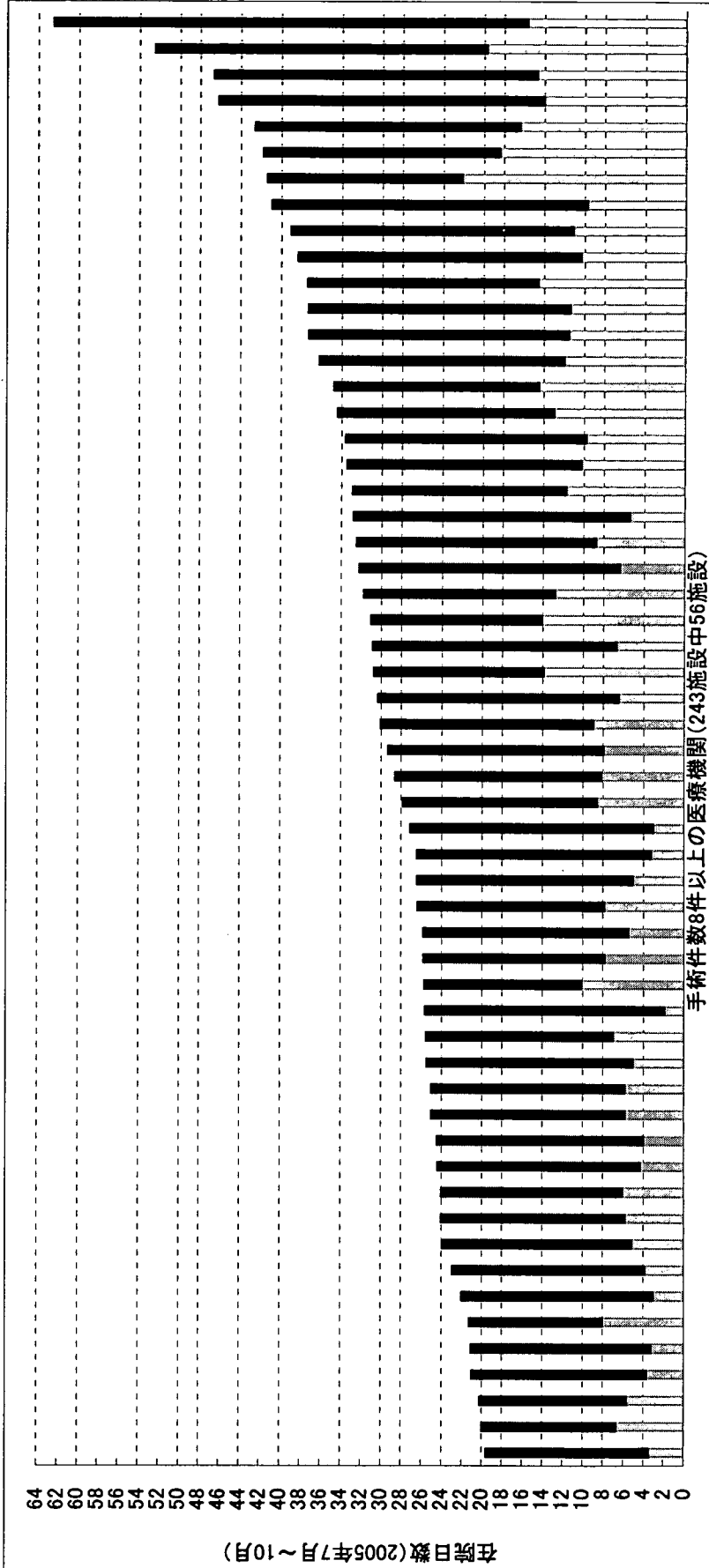
- 肝切除術 [DPC手術コード:01,02]
- 肝切除術 [DPC手術コード:03]
- 血管塞栓術 [DPC手術コード:05]
- その他 [DPC手術コード:04,19,96,97,99]

【コメント】

・全体的に肝・肝内胆管の悪性腫瘍に対する肝切除術の施行割合は低かった。

肝・肝内胆管の悪性腫瘍に対し肝切除術を施行した症例における平均在院日数(N = 808)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	パーセンタイル										
		06000503x01および06000503x02	解析内容									
肝・肝内胆管の悪性腫瘍	在院日数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
	術後在院日数	31.1	8.6	19.6	62.6	20.9	21.7	25.1	29.8	35.2	41.7	46.4
	術前在院日数	22.2	5.6	13.4	47.0	15.5	17.1	18.9	20.9	24.3	28.1	32.2
		8.8	4.6	1.8	22.1	3.1	3.4	5.4	7.9	11.7	14.6	16.8



【図の説明】

外れ値両側5%を除き、件数上位25%(8件以上)の施設を解析対象とした。

■ : 術前在院日数

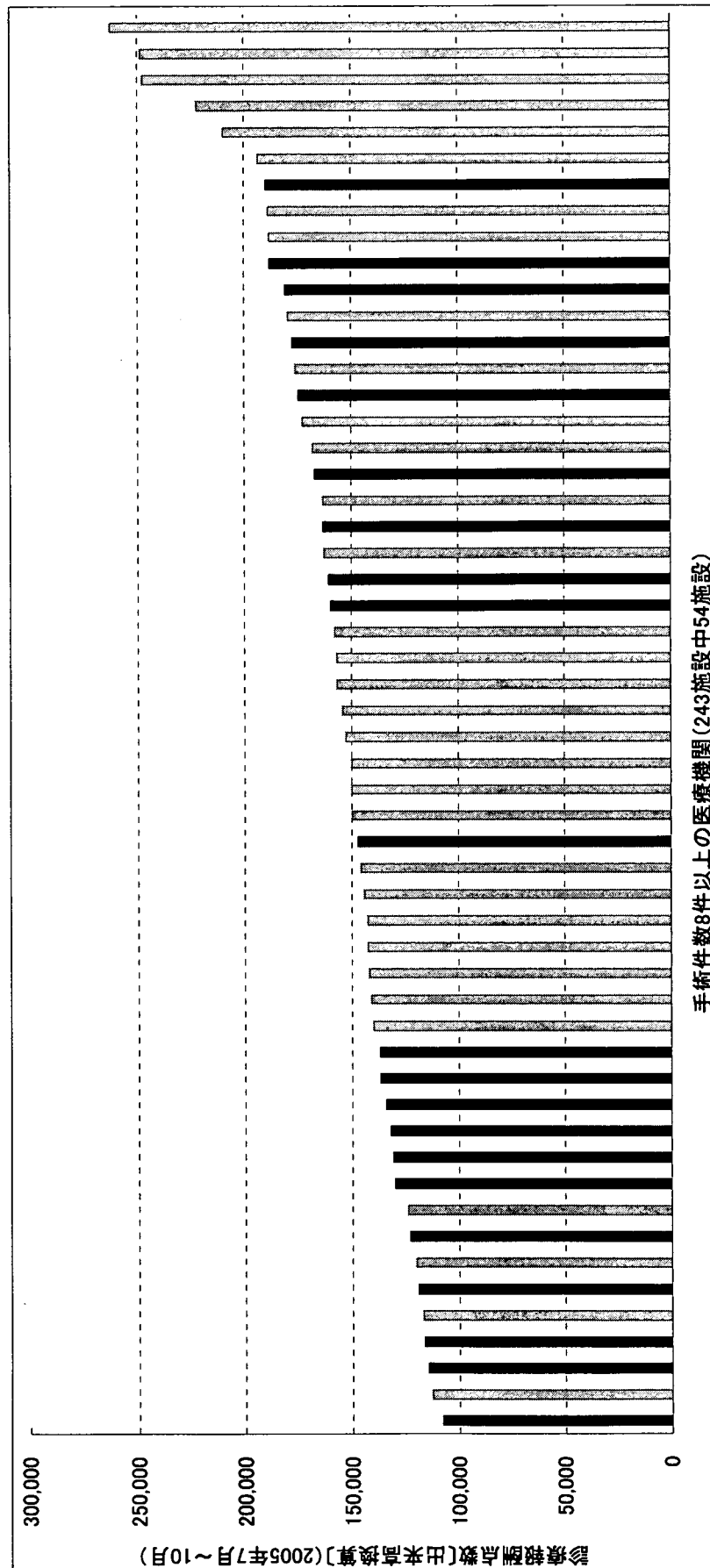
■ : 術後在院日数

【コメント】

- ・肝・肝内胆管の悪性腫瘍に対する肝切除術の平均在院日数は、医療機関でバラツキが見られた。
- ・外れ値下位2.5%未満に13件が相当したが、そのうち3件が1施設で占められていた。

肝・肝内胆管の悪性腫瘍に対し肝切除術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 787)

分類名	解析内容		パーセンタイル										
	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95		
肝・肝内胆管の悪性腫瘍	159,062	34,300	108,092	262,861	115,925	119,878	136,948	153,663	176,185	192,620	231,495		
診療報酬点数〔出来高換算〕	166,496	37,193	113,108	262,861	119,288	127,623	142,926	156,952	179,882	220,126	248,296		
特定機能病院(33施設)〔出来高換算総点数〕	147,380	25,883	108,092	189,998	114,633	116,621	130,201	137,038	167,286	181,037	188,150		
その他の参加病院(21施設)〔出来高制度の総点数〕													



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(8件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■:特定機能病院

■:その他の参加病院

【コメント】

・肝・肝内胆管の悪性腫瘍に対する肝切除術の一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕は、特定機能病院の方がその他の病院よりも平均値で2万点近く高かった。